

## ランダルコーポレーション営業所

万が一不具合等ございましたら、販売店またはお近くの  
営業所・サテライトまでお問い合わせください。

本社工場	〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 42-1 TEL.049-259-4433 FAX.049-259-3535
青森サテライト	〒 030-0921 青森県青森市原別 8-9-1 TEL.017-736-9535 FAX.017-736-9534
岩手営業所	〒 020-0846 岩手県盛岡市流通センター北 1-2-20 TEL.019-614-3007 FAX.019-639-0631
仙台営業所	〒 984-0821 宮城県仙台市若林区中倉 3-17-54 TEL.022-782-5286 FAX.022-782-5287
埼玉営業所	〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 42-1 TEL.049-274-3132 FAX.049-274-3134
八王子サテライト	〒 193-0824 東京都八王子市長房町 22-26 TEL.0426-68-9168 FAX.0426-68-9167
東京営業所	〒 120-0005 東京都足立区綾瀬 1-20-18 TEL.03-5629-5080 FAX.03-5629-5081
千葉サテライト	〒 262-0022 千葉県千葉市花見川区南花園 2-9-21 RT サンライト 101 号室 TEL.043-213-5775 FAX.043-273-5754
横浜サテライト	〒 220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-30-6 TEL.045-317-6052 FAX.045-317-6053
名古屋サテライト	〒 485-0059 愛知県小牧市小木東 1-12 TEL.0568-43-0790 FAX.0568-43-0830
大阪営業所	〒 578-0981 大阪府東大阪市島之内 2-14-27 TEL.072-960-3600 FAX.072-960-3700
岡山サテライト	〒 700-0975 岡山県岡山市北区今 8-3-35 TEL.086-242-6055 FAX.086-242-6066



ランダルコーポレーション

株式会社ランダルコーポレーション本社

〒 351-0034 埼玉県朝霞市西原 1-7-1

代 表 : TEL.048-475-3661 FAX.048-475-3709  
営業部ダイヤルイン : TEL.048-475-3662 FAX.048-475-3712

# 取扱説明書

LM-5390E(ET) LM-5290E(ET)  
LM-5390D(DT) LM-5290D(DT)  
LM-5380E(ET) LM-5280E(ET)  
LM-5380D(DT) LM-5280D(DT)

超低床アーゴラインベッドシリーズ



## まえがき

この度は超低床アーゴラインベッドシリーズをお  
買い上げいただき誠にありがとうございます。  
この取扱説明書には、ベッドを安全にお使いいた  
だくための注意事項と使用方法を記載しています。

この取扱説明書をよくお読みになり正しく  
ご使用ください。

『安全上のご注意』はご使用前に必ずお読  
みください。

この取扱説明書はいつでもご覧いただける  
ように大切に保管してください。

お買い上げの製品は、改良などによりこの  
「取扱説明書」の内容と一部異なる場合が  
あります。

## 目次

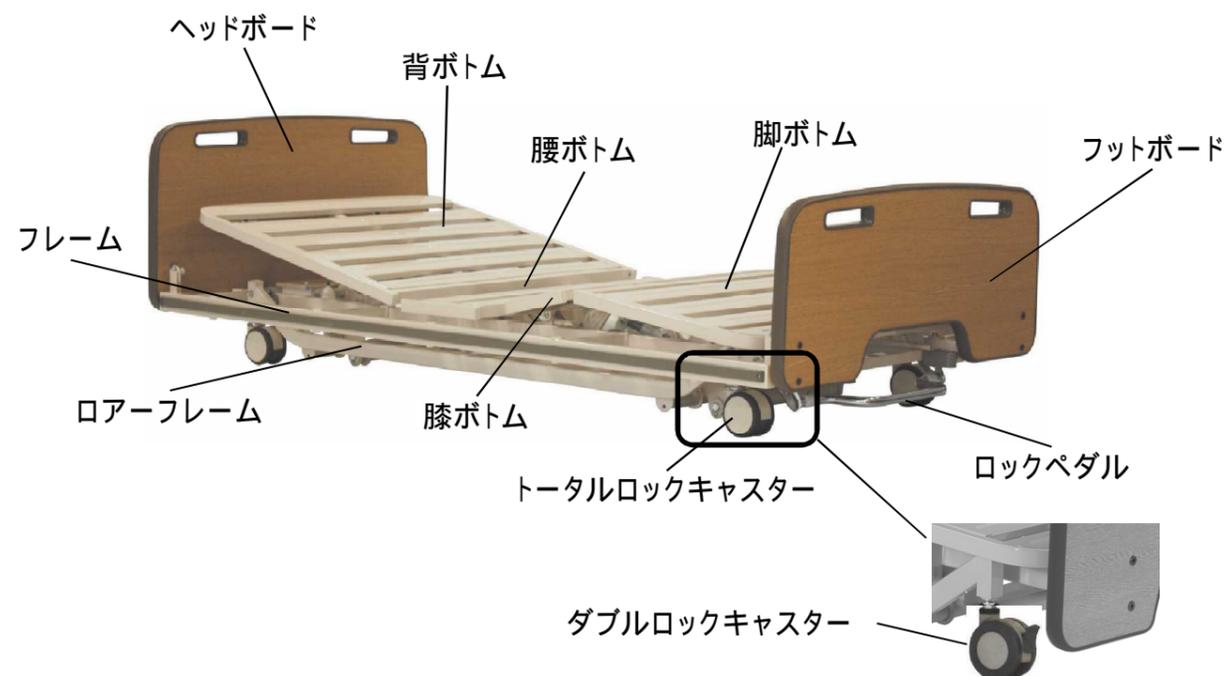
各部の名称と警告マーク	1
安全上のご注意	2~5
ベッド設置時のご注意	5
ベッドの動き	6
ベッドの取扱い	6~20
1. ベッドご使用前の確認	6・7
2. ベッドの操作	8~19
3. ベッドの搬送	20
4. 停電時の取扱い	20
清掃時の取扱い	20
ベッド備品の取扱い	21・22
1. ベッド備品の安全上のご注意	21
2. サイドレールの取扱い	22
3. 介助バーの取扱い	22
4. テーブルの取扱い	22
サービスご連絡前の確認	23
アフターサービスについて	24
ベッドの仕様	25



ランダルコーポレーション

2009.10.01

## 1.各部の名称



## 2.警告マーク

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りいただき正しくお使いください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

**警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または家屋・家財などの物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています(下記は絵表示の一例です)。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## ベッドの仕様

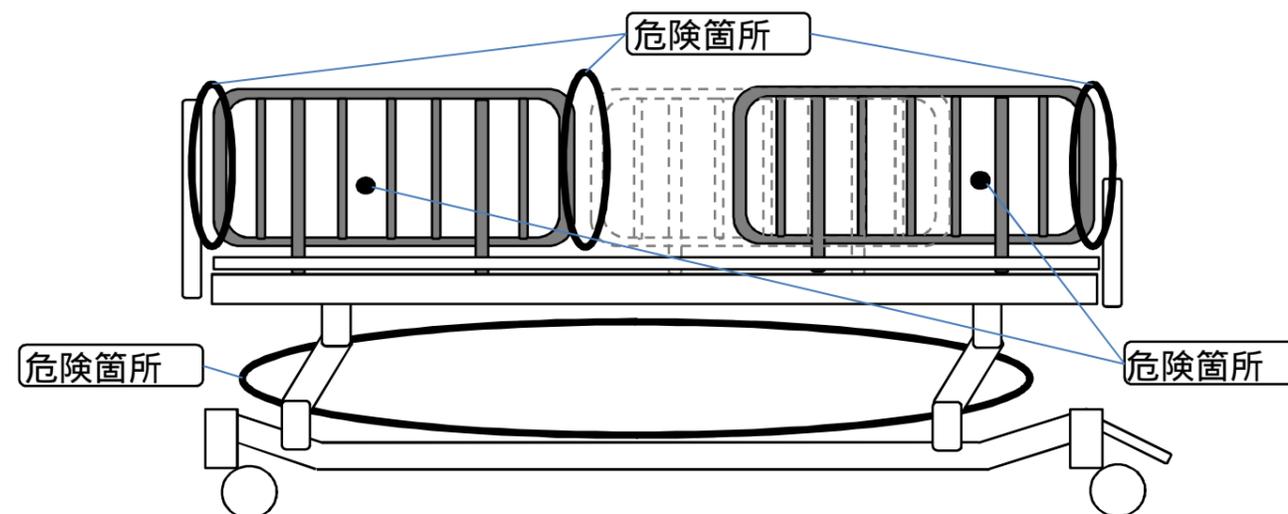
品番	3モーター	LM-5390E(ET)	LM-5380E(ET)	LM-5390D(DT)	LM-5380D(DT)
	2モーター	LM-5290E(ET)	LM-5280E(ET)	LM-5290D(DT)	LM-5280D(DT)
ベッド全長(mm)	2085			2103	
ベッド全幅(mm)	1008	928	1012	932	
ベッド床高(mm)	235~535				
背上げ	0~75度				
膝上げ	0~46度				
ヘッド高さ(mm)	647			636	
フット高さ(mm)	548			586	
材質	ヘッドフット	木製、ソフトエッジ		木製、スチール製：粉体塗装	
	本体フレーム	スチール製：粉体塗装			
	ボトム	スチール製：粉体塗装			
電源コード長さ(m)	2.5				
最大連続使用時間(分) ※1	5				
電圧(V)	100				
電流(A)	1.7				
モーター消費電力(W)	170				
マットレスサイズ(mm)	910×1910	840×1910	910×1910	840×1910	

1 ベッドを最大連続使用時間(約5分)動作させた場合、過熱防止回路がはたらき、アクチュエーターが停止します。ランプが点灯の状態になるまで20分程お待ち下さい。

## 安全上のご注意

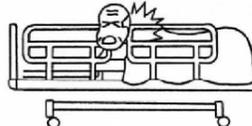
超低床アーゴラインベッドシリーズは、病院や施設などの医療機関でのご使用を目的として設計・製造されています。ここでは、超低床アーゴラインベッドシリーズの取扱いに関する全般的な「警告・注意」を示します。

又、下記の「警告」は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。事故を未然に防止するため必ずお守りください。



### 警告

- 危険箇所**  
 サイドレールどうしのすき間や、サイドレールとヘッドボードまたはサイドレールとフットボードのすき間に頭や首、肩などが入らないように注意してください。すき間にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。


- 危険箇所**  
 サイドレール、介助バーのパイプ間に頭、腕および足を入れたまま背上げ、膝上げ操作をしないでください。パイプの間にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。


- 危険箇所**  
 ベッドを操作する時は、背ボトム・膝・足ボトムの下やベッドの下に体や手足を入れないでください。特に、幼児はベッドに近づけないでください。ボトムやベッド全体が降下する時、ボトムやフレームに挟まれて、重傷を負う恐れがあります。

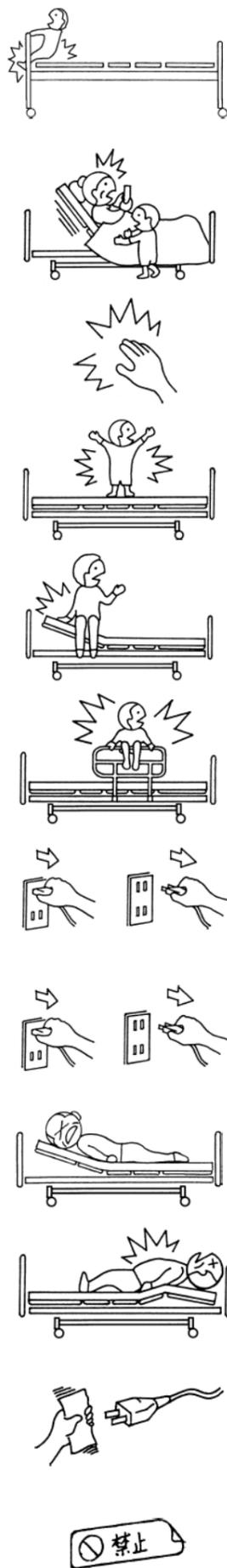

- 危険箇所**  
 可動部分(フレームやボトムの下)に手や足を入れないでください。はさまれて、ケガをする恐れがあります。


- 危険箇所**  
 ベッドの高さを変えるときは、介護者の足先に注意をしてください。はさまれて、ケガをする恐れがあります。



# 警告

- ⊘ ベッドの上で遊ばないでください。ヘッド・フットボードおよびヘッド・フットフレーム、本体フレームなどのすき間に手や足がはさまらないように注意してください。すき間にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。
- ⊘ ベッドを操作するときは、12歳以下の子供をベッドに近付けないでください。目を離れたすきにベッド下部等にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。
- ⚠ 各部を操作する時は、手指を挟まないでください。ケガの恐れがあります。
- ⊘ ベッドの上で立ち上がったり、とびはねたりしないでください。転落して、ケガの恐れがあります。
- ⊘ 背・膝ボトムが上がっている状態および足上げの状態、その部分に腰掛けしないでください。転落して、ケガの恐れがあります。
- ⊘ サイドレール・介助バー・オーバーテーブル等にぶら下がったり、のったりしないでください。転落して、ケガをする恐れがあります。
- ⊘ 電源プラグを抜く時は、電源プラグを持って抜いてください。電動ベッド  
感電する恐れがあります。
- ⊘ 誤操作を防止するため、12歳以下の子供や操作を理解できない人が1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグをその都度抜いてください。電動ベッド  
誤操作による事故を未然に防いでください。
- ⊘ うつぶせ姿勢で背上げ、膝上げ操作をしないでください。ケガの恐れがあります。
- ⊘ 頭側・足側を逆にして寝て、背上げ・膝上げ操作をしないでください。ケガの恐れがあります。
- ⊘ 電源コードプラグのほこりは定期的にとってください。電動ベッド  
電源プラグにほこり等がたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- ⊘ ベッドに付いている警告ラベルは、はがしたり、消したりしないでください。危険箇所に気付かず、ケガの原因になります。



## アフターサービスについて

### 1.「保証書」について

付属されている保証書に必ず「お買い上げ日・お客様のお名前、ご住所・販売店名」などをご記入の上、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

### 2.使用中に故障かな?と思われる時は

この取扱説明書の「サービスご連絡前の確認」にそって確認していただいても直らない時は、お買い上げの販売店にご連絡してください。なお、その際下記の内容をご連絡ください。

- 型式名
- お買い上げ日
- 症状(できるだけ詳しく)
- 施設名、お名前、ご住所、電話番号

### 3.保証について

保証期間はご購入いただいた日から1年間です。その期間中は無償で修理いたします。保証期間終了後の修理につきましては、お買い上げの販売店にご相談いただき、修理により使用出来るようであればご要望により有償で修理いたします。又、アフターサービスについてご不明な事がございましたら、弊社又はお近くの営業所にお問い合わせください。

### 4.部品の保有期間について

弊社では、ベッドの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後7年としております。

## サービスご連絡前の確認

サービスへご連絡いただく前に、下記の項目についてご確認下さい。

症状	チェック	対処
●ベッドの動作が遅い。	●電源プラグがコンセントに確実に、差し込まれていますか？	●電源プラグをコンセントに確実に、差し込んでください。
	●コンセントに電気が通電していますか？	●他の電気器具を使って、ご確認ください。
	●スピード設定がされていませんか？	●P.9スピード選択機能の項目をご覧の上設定を変更してください。
●手元スイッチを押しても動かない。「あたま」・「あし」・「たかさ」を押しても作動しない。	●電源プラグがコンセントに確実に、差し込まれていますか？	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	●手元スイッチのボタンを2つ以上同時に押ししていますか？	●一度ボタンを離して、1つだけ押しなおしてください。
	●ベッドを連続して（長時間連続）動かしていましたか？	●約20分以上放置した後、再度ボタンを押してください。（アクチュエーターの過熱保護が働いたためで故障ではありません。）完全に冷えるまで放置してください。
●ベッドの動きが途中で止まる。	●オールロック機能が設定されていませんか？	●P.14の操作ボタン誤操作防止オールロック機能の項目をご覧の上、設定を解除してください。
	●手元スイッチのボタンの中心をしっかりと押ししていますか？	●中心を押して確認してください。
	●障害物にあっていませんか？	●障害物を取り除いてください。
	●手元スイッチのボタンを2つ以上同時に押ししていますか？	●一度ボタンを離して、1つだけ押しなおしてください。
	●ピットリポジション機能が、設定されていませんか？	●P.10～12のピットリポジション機能の各部位の項目をご覧の上、設定を解除してください。
●角度保持機能が設定されていませんか？	●P.13の角度保持機能の項目をご覧の上、設定を解除してください。	
●ベッドを連続して（長時間連続）動かしていましたか？	●約20分以上放置した後、再度ボタンを押してください。（アクチュエーターの過熱保護が働いたためで故障ではありません。）完全に冷える前に操作をしますと、再度点滅状態になります。完全に冷えるまで、放置してください。	



販売店へご連絡下さい。  
(症状をできるだけ詳しくお伝えください)

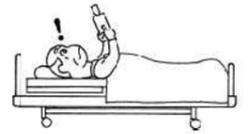
販売店

TEL

## 警告



操作を理解できない人にベッドを操作させないでください。誤操作によるケガの原因になります。



電源は交流100Vを使用し、電源プラグを根元までコンセントに確実に差し込んでください。100V以外の電源や電源プラグの差し込みが不確実のままご使用になると、火災や感電、故障の原因になります。



濡れた手でベッドを操作しないでください。感電する恐れがあります。



アクチュエーターやコントロールボックス・手元スイッチに液体をこぼさないでください。感電する恐れがあります。万一こぼしてしまった場合、電源プラグをコンセントから抜きサービスの点検をお受けください。



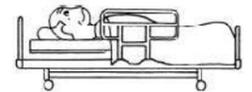
手元スイッチコードや電源コードを引っ張ったり、折り曲げたり、踏みつけたりしないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、火災の原因になります。



お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。不意の作動によるケガの原因になります。



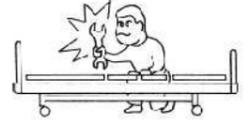
ベッドに人が寝ている時は、サイドレールを取り付けてください。ベッドから転落して、ケガをする恐れがあります。



治療中の人は、医師に相談してから使用してください。背や足上げ操作により、治療中の症状を悪化させることがあります。



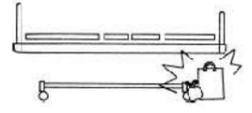
ベッドを分解したり、改造しないでください。感電や火災、誤動作の原因になります。



## 注意



ベッドの回りに作動に障害となるものを置かないでください。注意器物破損の原因になります。



2人以上の人が乗ったり、強い衝撃を与えないでください。ベッドの故障の原因になります。



背ボトムや脚ボトムを上げた状態で、その部分に腰掛けないでください。ベッドの故障の原因になります。



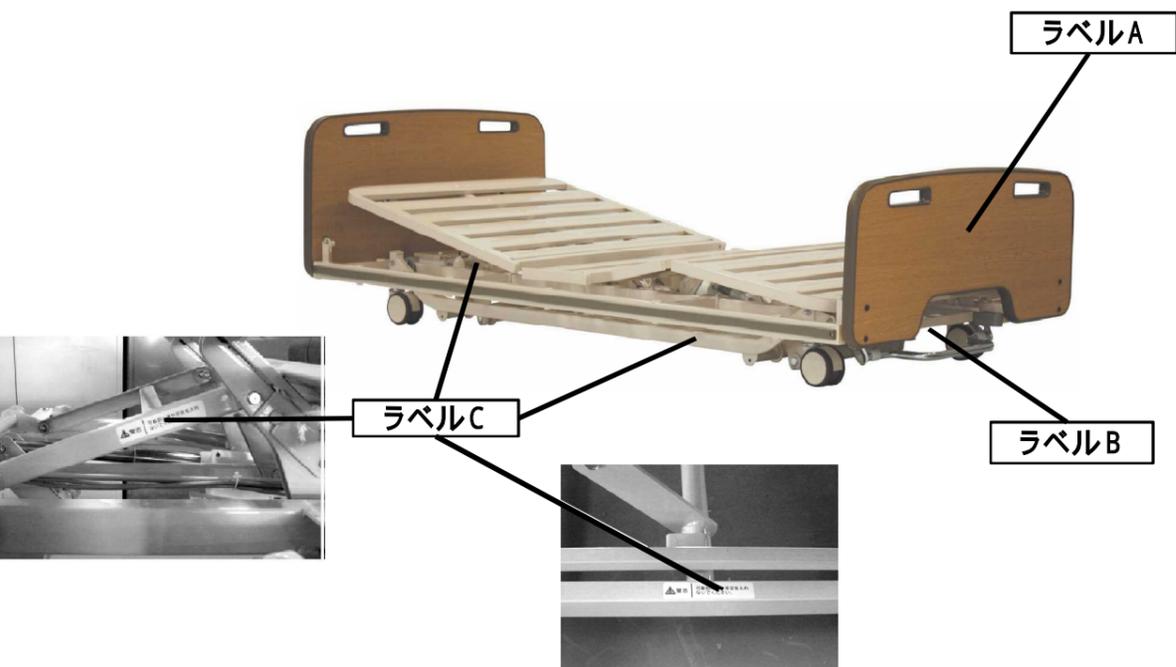
ベッドを連続して作動させないでください。保護回路が働いてベッドが動かなくなります。この場合、20分程度お待ちになってから再びお使いください。



ベッドに異常を感じたら使用を一時中止して、電源プラグをコンセントから抜き販売店へご連絡ください。そのままご使用いただくと、ベッドの故障の原因になります。

## お願い

取扱いに関する「警告・注意」は、ベッドにもラベルで付いています。ラベルの張り付け位置および種類を下記に示します。



<b>警告</b>	●弊社が指定する適合品以外の製品と組み合わさらないでください。 指定適合品以外と組み合わせると、期間の発生や安定性の低下などにより、けがをすることがあります。	●ベッドやオプション品のすき間に注意してください。 オプション品自身、オプション品、オプション品とベッドとのすき間などに体の一部（頭・首・手・脚など）がはさまれ、けがをすることがあります。	●サイドレール、介助バーなどのオプション品使用時もベッドからの転落に十分注意してください。 オプション品間、オプション品とベッドとのすき間や上から転落し、けがをすることがあります。	●各部を操作するときは手指をはさまないように注意してください。 はさまれてけがをすることがあります。	●ベッドの下に潜り込んだり頭・手や脚などを入れないでください。 ベッドの可動部とフレームやサイドレール、介助バーなどの間にはさまれて、けがをすることがあります。
-----------	--	---	---	---	---

●ベッド・オプションを正しく安全に安心してお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。  
【安全使用荷重：173.4kg (1700N) 安全使用者体重：135kg】

ランダルコーポレーション 日本製 0FZ50125

【ラベルA】

**ケガの恐れあり**

1. ベッドの下側にもぐり込んだり手を入れないこと。
2. ベッドの上で立ち上ったり、2人以上で使用しないこと。

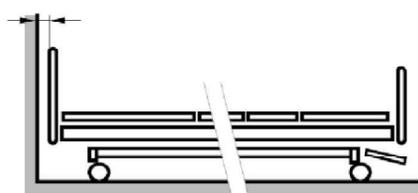
【ラベルB】

**警告** 可動部に体や手足を入れないでください。

【ラベルC】

## ベッド設置時のご注意

5cm 以上離す



- ヘッドボードを壁側に置く  
(ハイロー調節時、壁に障害物がないことを確認して) 壁から5cm以上離してください。
- フットボードを壁側に置く  
※トータルロックの操作ができないためフットボードを壁側に置かないでください。
- ベッドサイドを壁側に置く  
(ハイロー調節時、壁に障害物がないことを確認して) 壁から10cm以上離してください。
- ベッド⇄ベッドまたはキャビネットの空間  
車椅子が通れる程度（800mm以上）離してください。

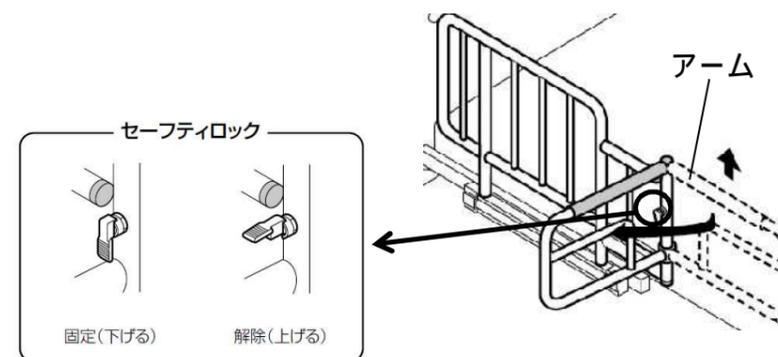
※壁にコンセントなどがある場合は、当たらない位置まで離すか、よけて設置してください。

## 2. サイドレールの取扱い

ベッド上に人が寝ている時は、必ず取り付けてください。  
サイドレールを持って起き上ったり、ベッドを搬送しないでください。  
折りたたみサイドレールは、適合していませんのでご使用にならないでください。

## 3. 介助バーの取扱い

介助バーがしっかり取り付けられているか確認してからご使用ください。  
セーフティロックを解除し、アームを持ち上げるとスイングアームを回転させることができます。  
また、レバーを下げるとアームを固定することができます。  
スイングアームをご使用者に合った角度にしっかりと固定してからご使用してください。  
ロックレバー及び回転部に指を挟まないように注意してください。



**警告** 介助バーは、内側（ベッド側）で使用しないでください。  
介助バーとベッドに身体が、はさまり、ケガや重傷の恐れがあります。

## 4. テーブルの取扱い

ベッドテーブルの取扱い  
膝で突き上げないでください。  
5kg 以上は乗せないでください。  
60 以上の熱いものは乗せないでください。  
ベッドを作動する時は、一度テーブルを外してから行うか、挟まれないようご注意ください。



オーバーテーブル



サイドテーブル

**警告** ノブ式のベッドテーブルは、ご使用前にノブを確実に締め付けてください。  
天板が落下して、ケガや器物破損の恐れがあります。

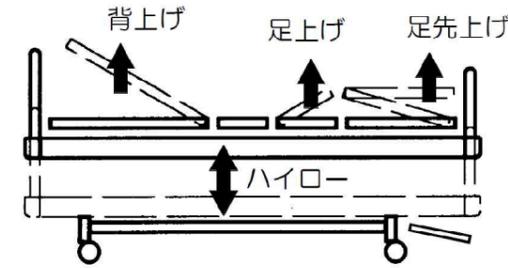
## ベッド備品の取扱い

### 1. ベッド備品の安全上のご注意

#### 警告

-  オプションは、弊社以外の物はお使いにならないでください。破損、転落、転倒して、ケガの原因になります。
-  ベッド上に人が寝ている時は、必ずサイドレールを取り付けてください。ベッドから転落して、ケガの恐れがあります。
-  幼児や小さなお子様をサイドレール・介助バー・テーブルパネル等で遊ばせないでください。ケガの原因になります。
-  サイドレール・介助バー・テーブルパネル等に腰掛けたり極端な荷重をかけないでください。壊れて、ケガの恐れがあります。
-  サイドレール・介助バー・テーブルパネル等に付属以外の部品を使ったり改造しないでください。破損の原因になります。
-  サイドレール・介助バーのパイプの間やすき間に頭、腕および足を入れたまま背上げ、膝上げ操作をしないでください。すき間に挟まれて、死亡、重傷の恐れがあります。
-  サイドレールを持って起き上ったり、ベッドを搬送しないでください。変形して、ケガの原因になります。
-  テ이블パネル・サイドテーブルをご使用の場合は、テーブルパネル・サイドテーブルをベッドから必ず取り外してベッドの各操作を行ってください。テーブルが倒れたり、テーブルの上の物が倒れて、ケガや器物破損の恐れがあります。
-  サイドテーブルのノブは、確実に締め付けてください。天板が落下して、ケガや器物破損の恐れがあります。
-  介助バーご使用時には、スイングアームがしっかり固定されているか確かめてご使用してください。ケガの原因になります。
-  介助バー本体およびスイングアームのすき間に手、腕、首、足等を入れないでください。すき間に挟まれて、ケガの恐れがあります。
-  介助バーのロックレバーがフリーの状態でご使用しないでください。ケガの原因になります。

## ベッドの動き



- 背上げ**  
手元スイッチ操作で背ボトムに0～75°の範囲で傾斜がつけられます。
- 足上げ**  
手元スイッチ操作で脚ボトムに0～46°の傾斜がつけられます。
- ハイロー**  
手元スイッチ操作でベッドの高さが235～535mmの範囲で調節できます。
- 足先上げ**  
手動操作で脚ボトム先端を2段高くできます。



-  背上げ操作・・・『あたま』ボタン
-  足上げ操作・・・『あし』ボタン
-  ハイロー操作・・・『たかさ』ボタン

## ベッドの取扱い

### 1. ベッドご使用前の確認

#### 設置状況の確認

- ・障害物がないことを確認してください。

#### ベッド状態の確認

- ・梱包用のビニール、紐が残っていないことを確認してください。

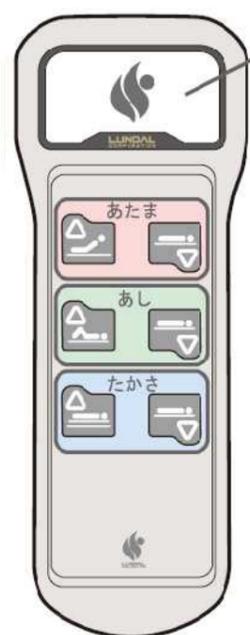
### (3)ご使用前の作動確認

- ①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
  - ②手元スイッチの通電ランプの点灯を確認してください。
  - ③背上げ・足上げ・ハイローを上限⇄下限の位置まで動かして異音がなくスムーズに作動することを確認してください。
- ※手元スイッチのフック部分をヘッドボード又はサイドレールの上部外側にセットしてご使用してください。



**警告** 電源は交流 100V を使用し、電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。100V 以外の電源や電源プラグの差し込みが不確実のままご使用になると、火災や感電、故障の原因になります。

### (4)手元スイッチ〈電動ベッド〉



- 通電ランプ
- ・点灯 → 正常な状態で常時点灯します。
  - ・点滅 → 便利機能を設定している時、点滅します。  
→ 長時間連続して操作した時、保護回路が働き点滅します。
  - ・点灯しない → 電源プラグが外れている場合、停電の場合、断線等による故障の場合には点灯しません。
- 警告音
- 次の場合は、手元スイッチが警告音を発します。
- ①ボタンを2つ以上同時に押した時。「ピピッ」
  - ②ベッドを連続して作動し、保護回路が働いてベッドの動きが停止した時。「ピピッ」
  - ③保護回路が働いている時にボタンを押した時。「ピピピッ」
  - ④ベッド動作の上限、下限位置でボタンを押した時。「ピピッ」
- ※②～③は 20 分程度放置しますと、正常の状態に戻ります。

### 知っておいていただきたいこと

ボタンを離してもベッドの動きが止まらなくなって困った場合には、押していたボタンと別のボタン(どれでも可)を押すと止まります。この場合、ご使用を一時中止して電源プラグをコンセントから抜き、点検・修理をお受けください。

## 3. ベッドの搬送

### (1)ベッドを搬送する前に

- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②ヘッド・フットボードがロックされているか確認してください。  
(ヘッド・フットボードのロック P.10)
- ③キャスターのロックを外してください。(キャスターのロック解除 P.10)

### (2)ベッドを搬送する

ヘッドボードおよびフットボードの上部を持って搬送してください。

## お願い

- ベッドの搬送は、必ず2人で行ってください。
- サイドレールを持って搬送しないでください。
- 床面の大きな段差等はできるだけさけて搬送してください。  
※ベッドの高さを少し高くして、搬送してください。  
ベッドの故障の原因になります。

## 4. 停電時の取扱い

ボトムを起こすと図のような連結部があります。連結部を固定しているスナップピンを抜き、連結ピンを取り外します。



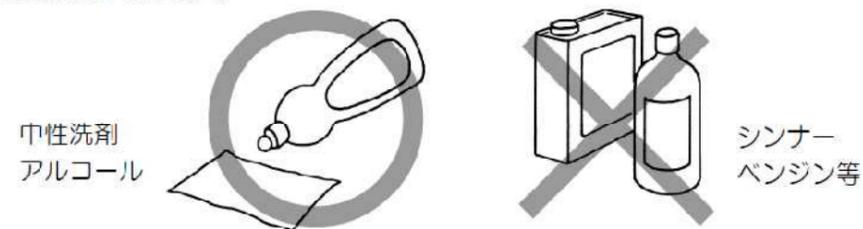
## 清掃時の取扱い

### (1)ベッド・ベッド備品を清掃する前に

- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②ベッドの下部およびベッド備品は構造上突起部分が多く存在するため、手袋を着用してください。

### (2)ベッド・ベッド備品を清掃する

ベッド・ベッド備品は中性洗剤またはアルコールを布に浸して清掃してください。シンナー等の溶剤を用いると、塗装面が変色する恐れがあります。また、駆動部(アクチュエーター・コントロールボックス・手元スイッチ等)は、から拭きにとどめてください。



**警告** お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。不意の作動によるケガの原因になります。

#### (14)ヘッドボード・フットボードの脱着

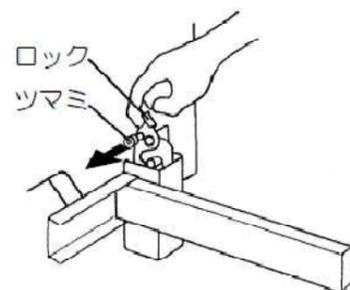
##### ①ヘッドボード（フットボード）を取り外す

ヘッドボード（フットボード）のロックのつまみを引っ張りながら、左右2カ所を指で引き上げ、ボードを持ち上げて外してください。

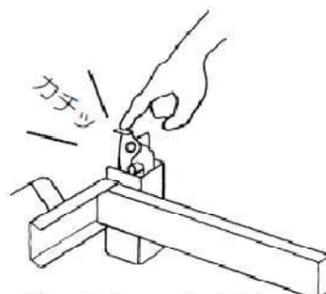
##### ②ヘッドボード（フットボード）を取り付ける

ヘッドボード（フットボード）のブラケットをベッド本体のピンに引っ掛け、ロック左右2カ所を「カチッ」と音がするまで指で押し下げてください。

※つまみを引かずに、ロックが外れないことを確認してください。



〈ロックを外す〉



〈ボードをロックする〉



### 注意

ヘッドボード（フットボード）を取り外す時以外は、ロックをしてください。ボードが外れて、ケガの原因になります。

## 2.ベッドの操作

### (1)背上げ操作

【手元スイッチ操作】



#### ①背を上げる

『あたま』ボタンの▲「あがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。

#### ②背を下げる

『あたま』ボタンの▼「さがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。

※上限と下限では「ピピッ」と警告音を発し、自動停止します。

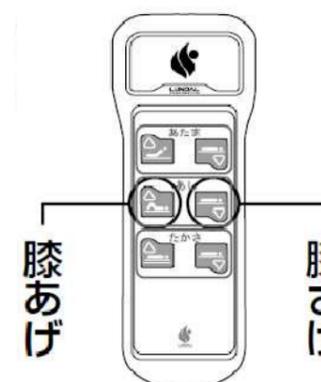


### 警告

背ボトムの下に体や手足を入れないでください。  
背ボトムが降下する時、ボトムとフレームの間に挟まれて、ケガをする恐れがあります。

### (2)足上げ操作

【手元スイッチ操作】



#### ①足を上げる

『あし』ボタンの▲「あがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。

#### ②足を下げる

『あし』ボタンの▼「さがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。

※上限と下限では「ピピッ」と警告音を発し、自動停止します。



### 警告

脚・足ボトムの下に体や手足を入れないでください。  
脚・足ボトムが降下する時、ボトムとフレームの間に挟まれて、ケガをする恐れがあります。

### (3)ハイロー操作

【手元スイッチ操作】



#### ①ベッドを高くする

『たかさ』ボタンの▲「あがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。

#### ②ベッドを低くする

『たかさ』ボタンの▼「さがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。

※上限と下限では「ピピッ」と警告音を発し、自動停止します。



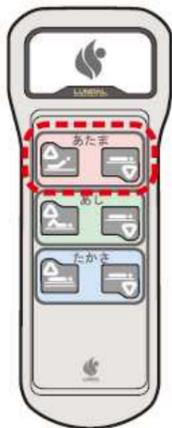
### 警告

ベッドの下に体や手足を入れないでください。  
ベッドが降下する時、ベッドの下に挟まれて、ケガをする恐れがあります。

#### (4)スピード選択機能

##### スピード選択機能

スピード選択機能により、「遅い」・「通常」・「速い」の三段階から選択できます。  
※初期設定及びオールクリア後は、「通常」スピード設定となります。



※各部位ごと（個別）のスピード設定はできません。

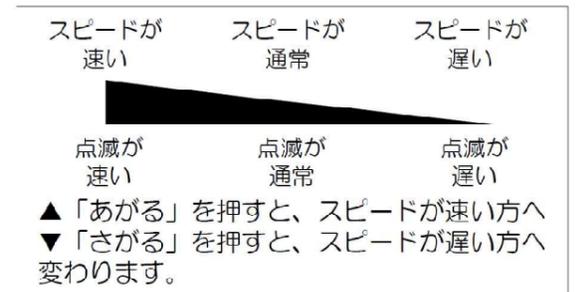
①『あたま』ボタンの▲「あがる」▼「さがる」を同時に、5秒間、指で押し続けます。ピー音とともにリモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅したら、ボタンを離してください。

②『あたま』ボタンの▲「あがる」▼「さがる」を同時に、3秒間、指で押し続けてください。ピー音とともにリモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅したら、スピード切り換えができます。

③『あたま』ボタンの▲「あがる」▼「さがる」でスピードを選択します。▲「あがる」で速く、▼「さがる」で遅くなります。

※リモコン上部のLEDの点滅スピードが三段階になりますので、お好みのスピード（点滅）に合わせてください。

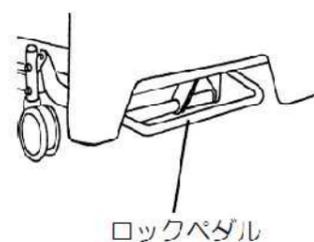
※▲「あがる」▼「さがる」を押して調節するときは、確実にゆっくりとボタンを押してあわせてください。



④スピードを合わせたら、『あたま』ボタンの▲「あがる」▼「さがる」を同時に、3秒間、指で押し続けてください。ピー音とともにリモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅解除されましたらスピード切り換え完了です。

#### (13)キャスターのロック

【トータルロックキャスター】 ※トータルロックキャスターは、1カ所のペダル操作で4輪をロックすることができます。

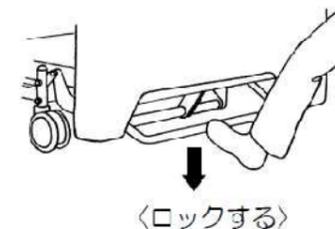


①キャスターをロックする

フットボード下部にあるロックペダルを足で踏んで下へ押し下げてください。

②キャスターのロックを解除する

フットボード下部にあるロックペダルを足先で上へ引き上げてください。



**警告**

搬送時以外は、キャスターをロックしてください。  
ベッドが動いて、ケガの原因になります。

#### 【ダブルロックキャスター】

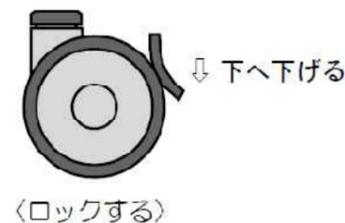
ダブルロックキャスターは、4輪全てに付いています。

キャスターをロックする

ロック付キャスターのロックペダルを踏んで（下げて）ください。

キャスターのロックを解除する

ロック付キャスターのロックペダルを上げてください。

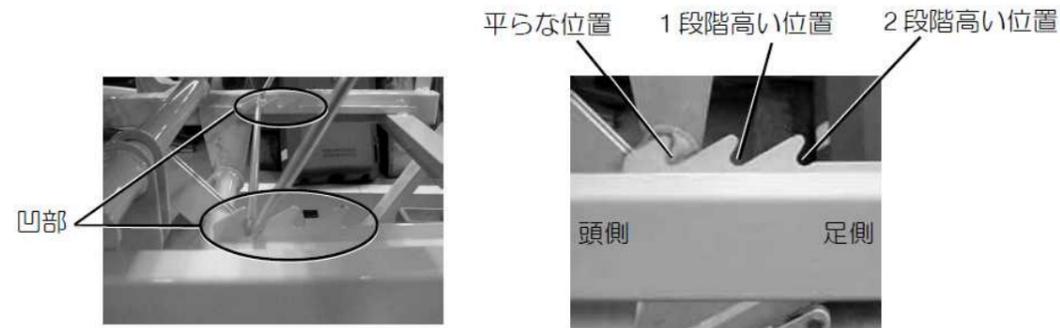


**警告**

搬送時以外は、キャスターをロックしてください。  
ベッドが動いて、ケガの原因になります。

## (2)足先上げ操作

足先を下写真の位置で2段階高くすることができます。通常は平らな位置でお使いください。また、ボトムストッパーを凹部以外の位置で使用しないでください。



**警告** 足ボトムが平らな状態で足先上げを行わないでください。足の下側に隙間が生じ、ケガをする恐れがあります。

**注意** ボトムストッパーを凹部以外の位置で使用しないでください。ベッドの故障の原因になります。

## (5)ピッタリポジション機能【背上げ部】

**ピッタリポジション機能【背上げ部】** お好みの背上げポジションをボタン操作により記憶し、簡単に快適ポジションでベッドをご使用いただけます。



### ピッタリポジション【背上げ部】の設定

①ご希望ポジションの決定  
背上げ操作（『あたま』ボタンの▲「あがる」もしくは▼「さがる」にて、ご希望のポジションに合わせて、ください。

②ご希望ポジションのメモリー（記憶）  
①『あたま』のボタンの▲「あがる」▼「さがる」を同時に、指で5秒間、押し続けてください。

②ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅したら、『あたま』のボタンの▲「あがる」を、指で3秒間押し続けてください。

③ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅解除されましたら、ピッタリポジションのメモリー（記憶）完了です。  
※この後の背上げ操作は、このピッタリポジションになると、背上げ動作が自動停止します。

### ピッタリポジション【背上げ部】の解除

①ピッタリポジションのメモリー解除  
①『あたま』のボタンの▲「あがる」▼「さがる」を同時に、指で5秒間、押し続けてください。

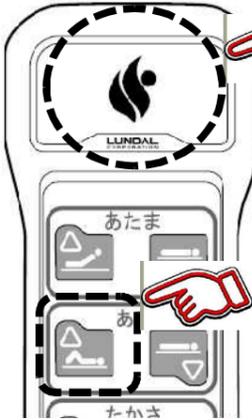
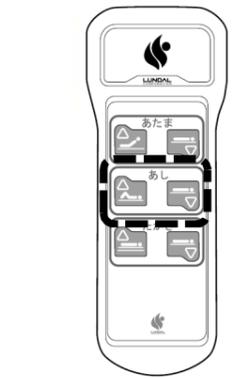
②ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅したら、『あたま』のボタンの▲「あがる」を、指で3秒間押し続けてください。

③ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅解除されましたら、ピッタリポジションのメモリー解除完了です。

(6)ピットリポジション機能【足上げ部】

ピットリポジション機能【足上げ部】 お好みの足上げポジションをボタン操作により記憶し、簡単に快適ポジションでベッドをご使用いただけます。

**ピットリポジション【足上げ部】の設定**



①ご希望ポジションの決定  
足上げ操作（『あ し』ボタンの▲「あがる」もしくは▼「さがる」）にて、ご希望のポジションに合わせて、ください。

②ご希望ポジションのメモリー（記憶）  
①『あ し』のボタンの▲「あがる」▼「さがる」を同時に、指で5秒間、押し続けてください。

②ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅したら、『あ し』のボタンの▲「あがる」を、指で3秒間押し続けてください。

③ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅解除されましたら、ピットリポジションのメモリー（記憶）完了です。  
※この後の足上げ操作は、このピットリポジションになると、足上げ動作が自動停止します。

**ピットリポジション【足上げ部】の解除**

①ピットリポジションのメモリー解除  
①『あ し』のボタンの▲「あがる」▼「さがる」を同時に、指で5秒間、押し続けてください。

②ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅したら、『あ し』のボタンの▲「あがる」を、指で3秒間押し続けてください。

③ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅解除されましたら、ピットリポジションのメモリー解除完了です。

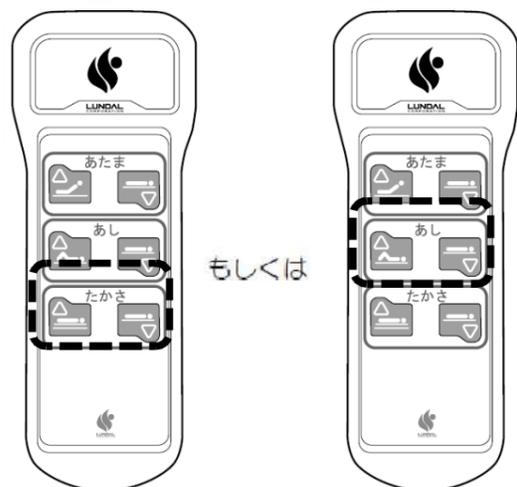
(11)便利機能設定解除リモコン早見表

<p>スピード選択 ※各部位ごとに スピードを 設定すること は、できません。</p>	<p>同時に5秒間押しとロゴのマークが点滅します。点滅したら、一度ボタンを離します。</p>	<p>同時に3秒間押しとロゴのマークが点滅します。</p>	<p>スピード調整 ※速い点滅程スピードが速くなります。スピードを速くする場合は、▲「あがる」を、遅くする場合は、▼「さがる」をゆっくり押し、調節してください。</p>	<p>同時に3秒間押し</p>
<p>背上げピットリ ポジション （設定・解除）</p>	<p>最適ポジション調整後</p>	<p>同時に5秒間押し</p>	<p>ロゴマーク点滅後</p>	<p>3秒間押し</p>
<p>足上げピットリ ポジション （設定・解除）</p>	<p>最適ポジション調整後</p>	<p>同時に5秒間押し</p>	<p>ロゴマーク点滅後</p>	<p>3秒間押し</p>
<p>たかさピットリ ポジション （設定・解除）</p>	<p>最適ポジション調整後</p>	<p>同時に5秒間押し</p>	<p>ロゴマーク点滅後</p>	<p>3秒間押し</p>
<p>内角角度保持 制限 （設定・解除）</p>	<p>同時に5秒間押し</p>	<p>ロゴマーク点滅後</p>	<p>同時に3秒間押し</p>	
<p>誤操作防止 オールロック （設定・解除）</p>	<p>同時に5秒間押し</p>	<p>ロゴマーク点滅後</p>	<p>3秒間押し</p>	
<p>オールクリア 【あ し】 か 【たかさ】 のどちらか</p>	<p>同時に5秒間押し</p>	<p>ロゴマーク点滅後</p>	<p>同時に3秒間押し</p> <p>※初めに押したボタンと同じ</p>	
	<p>同時に5秒間押し</p>		<p>同時に3秒間押し</p> <p>※初めに押したボタンと同じ</p>	

ロゴマーク点滅解除で完了

ロゴマーク点滅解除で完了

(10) オールクリア機能 (設定した機能を全て一度にリセットする。)



**オールクリア機能の実施**

- ① 背上げ操作・「あたま」ボタン以外 (『たかさ』ボタンの▲「あがる」と▼「さがる」) もしくは、(『あし』ボタンの▲「あがる」と▼「さがる」) を同時に、指で5秒間押し続けてください。
- ② ピー音とともに、リモコン上部のLED (大きい葉のマーク) が点滅したら、①で押した (選んだ) ボタンを同時に、指で3秒間押し続けてください。
- ③ ピー音とともに、リモコン上部のLED (大きい葉のマーク) が点滅解除されましたら、オールクリア完了です。

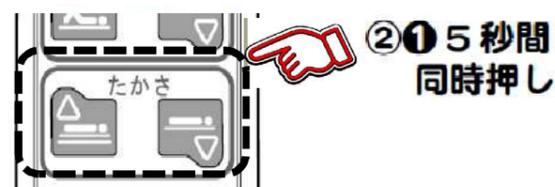
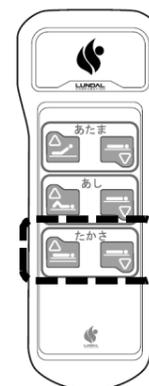
**例) 『たかさ』ボタンの場合**



- ① 『たかさ』ボタンの▲「あがる」と▼「さがる」を同時に、指で5秒間、押し続けます。
- ② ピー音とともに、リモコン上部のLED (大きい葉のマーク) が点滅したら、『たかさ』ボタンの▲「あがる」と▼「さがる」を同時に、指で3秒間押し続けてください。
- ③ ピー音とともに、リモコン上部のLED (大きい葉のマーク) が点滅解除されましたら、オールクリア完了です。

(7) ピッタリポジション機能【たかさ部】

ピッタリポジション機能【たかさ部】 お好みのたかさポジションをボタン操作により記憶し、簡単に快適ポジションでベッドをご使用いただけます。



**ピッタリポジション【たかさ部】の設定**

- ① ご希望ポジションの決定  
ハイロー操作 (『たかさ』ボタンの▲「あがる」もしくは▼「さがる」) にて、ご希望のポジションに合わせてください。
  - ② ご希望ポジションのメモリー (記憶)  
① 『たかさ』のボタンの▲「あがる」▼「さがる」を同時に、指で5秒間、押し続けてください。
  - ③ ピー音とともに、リモコン上部のLED (大きい葉のマーク) が点滅したら、『たかさ』のボタンの▲「あがる」を、指で3秒間押し続けてください。
- ③ ピー音とともに、リモコン上部のLED (大きい葉のマーク) が点滅解除されましたら、ピッタリポジションのメモリー (記憶) 完了です。  
※この後のハイロー操作は、このピッタリポジションになると、ハイロー動作が自動停止します。

**ピッタリポジション【たかさ部】の解除**

- ① ピッタリポジションのメモリー解除  
① 『たかさ』のボタンの▲「あがる」▼「さがる」を同時に、指で5秒間、押し続けてください。
- ② ピー音とともに、リモコン上部のLED (大きい葉のマーク) が点滅したら、『たかさ』のボタンの▲「あがる」を、指で3秒間押し続けてください。
- ③ ピー音とともに、リモコン上部のLED (大きい葉のマーク) が点滅解除されましたら、ピッタリポジションのメモリー解除完了です。

## (8)角度保持機能

### 角度保持機能

※100°は、目安で機種・角度により10°程度の誤差が生じます。

内角が90°以下になると、腹部への過剰圧迫の原因となることがある為、背上げと足上げの内角角度が約100°を保つように、背ボトムと膝ボトムの角度を制限します。(例：先が上がっている背ボトムもしくは脚ボトムを優先し、後から上げるボトムは、内角が約90°以下にならないように手前で、とまります。)



### 角度保持機能の設定

- ①背上げ操作（『あたま』ボタンの▲「あがる」と『あし』ボタンの▼「あがる」）を同時に、指で5秒間、押し続けてください。
- ②ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅したら、『あたま』ボタンの▲「あがる」と『あし』ボタンの▼「あがる」を同時に、指で3秒間、押し続けてください。
- ③ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅解除されましたら、角度保持機能の設定完了です。

### 角度保持機能の解除

- ①背上げ操作（『あたま』ボタンの▲「あがる」と『あし』ボタンの▼「あがる」）を同時に、指で5秒間、押し続けてください。
- ②ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅したら、『あたま』ボタンの▲「あがる」と『あし』ボタンの▼「あがる」を同時に、指で3秒間、押し続けてください。
- ③ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅解除されましたら、角度保持機能の解除完了です。

## (9)操作ボタン誤操作防止オールロック機能

### 誤操作防止 オールロック機能

誤って操作をしないように、ボタン操作で、操作ボタンのロック・解除ができます。

### 誤操作防止オールロックの設定

- ①背上げ操作（『あたま』ボタンの▲「あがる」と▼「さがる」）を同時に、指で5秒間、押し続けてください。
- ②ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅したら、『あたま』のボタンの▲「さがる」を、指で3秒間押し続けてください。
- ③ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅解除されましたら、オールロック機能の設定完了です。

### 誤操作防止オールロックの解除

- ①背上げ操作（『あたま』ボタンの▲「あがる」と▼「さがる」）を同時に、指で5秒間、押し続けてください。
- ②ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅したら、『あたま』のボタンの▲「さがる」を、指で3秒間押し続けてください。
- ③ピー音とともに、リモコン上部のLED（大きい葉のマーク）が点滅解除されましたら、オールロック機能の解除完了です。

